

ヒョウタンと人の歴史は一万年以上前から今に至るまで続いてきました。

ヒョウタンは軽くて丈夫で密封性があり栽培や加工も容易なことから世界中でさまざまな場面に利用されてきました。例えば、水入れとしての利用は土器よりも早く、中の空洞は音を良く響かせるので楽器の材料としても利用されました。ほかにも神話に登場するなど精神的な面も併せ持ちます。ヒョウタンを通して人の生活や文化をご紹介します。

ひょうたんの様々な利用

ヒョウタンの多様性

ヒョウタンと一口に言っても様々な形・大きさがあります。3cm以下の小さなものから2mを超えるものまで。



さまざまな生活用品

パイプ・茶器・石灰入れ、帽子など変わった用具にも使われています。



コンゴ パイプ



ニューギニア 石灰入れ

美術品・装飾品

ヒョウタンにはさまざまな加工が施せます。精緻な技巧をご覧ください。

楽器

ヒョウタンの空洞は音をよく響かせるため楽器として利用されてきました。

特殊な利用

ヒョウタンは神話や伝説との結びつきも強いことから、祭器や儀式用具としても利用されてきました。

※パネルと写真で紹介

ひょうたんスピーカー

ヒョウタンそのものが共鳴し、やさしい波動となって、心地よい音が伝わります、どこから音が出ているのかわからないような無指向性のスピーカーのため音の空間が広がります、スピーカーから流れている音楽はヒョウタンの楽器で演奏されています。



作者 秋元しゅうせい 制作スタッフ 迫 彰一郎
伊藤 寛